記 者 発 表

令和７年１０月１７日
北上川下流河川事務所

脱炭素化への取り組み
「バイオ燃料」を用いた除草機械による実証実験

北上川下流河川事務所管内では、堤防変状を早期に発見するため、毎年、除草機械を用いて刈り取りによる除草作業を行っています。

今回新たな試みとして、除草機械のCO2排出を軽減するバイオ燃料（(株)千田環境ホールディングス・(有)千田清掃）を用いた除草を一部区間で使用した実証実験を行います。

■開催日時

令和７年１０月２１日（火）　９時３０分～１２時

■集合場所

工場視察：宮城県大崎市古川狐塚西田７７
(株)千田環境ホールディングス・(有)千田清掃　工場
（別紙１参照）

■実証実験区間

江合川 左岸 ２３．８ｋ付近
（大崎市古川 下谷地土手下 地内（別紙２参照））

※当日の取材を希望される場合は別紙１・２に記載の集合場所へお越しください。

〈発表記者会：石巻記者クラブ、古川記者クラブ〉

国土交通省 東北地方整備局 北上川下流河川事務所 大崎出張所

宮城県大崎市古川鶴ヶ埣字鶴田 154-3　TEL　0229-22-0336

出張所長　　山内　尚也

【別紙１】

【バイオ燃料（工場）視察】

① 開催日時　　令和７年１０月２１日（火）
９時３０分～１０時３０分

② 集合場所　　宮城県 大崎市古川狐塚西田７７



「出典：地理院地図に位置等を追記して掲載」

③ 給油機械　　維持工事作業車両・遠隔式除草機



工場で B5 燃料を給油



現場で B100 燃料を給油

【別紙２】

【バイオ燃料（除草）実証実験】

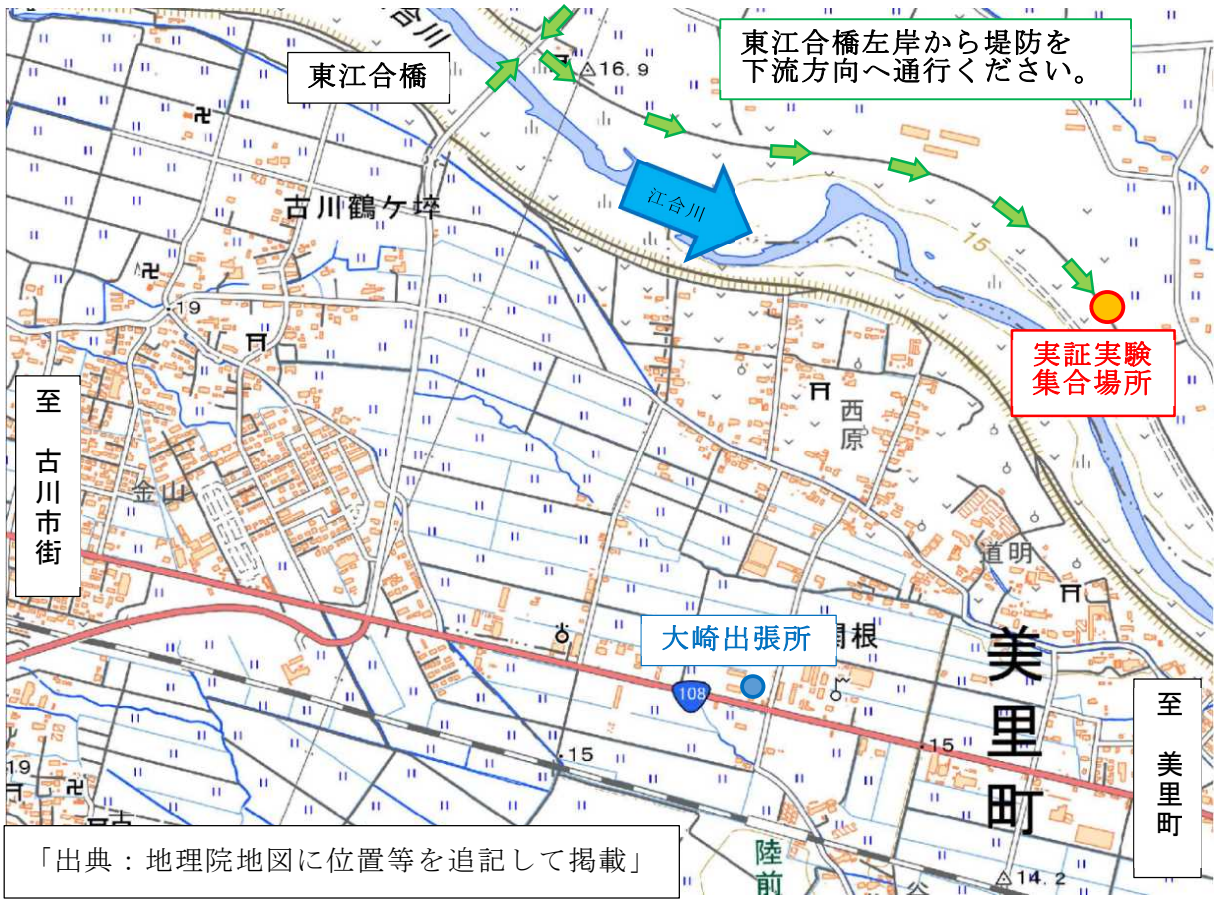
① 開催日時　　令和７年１０月２１日（火）１１時～１２時

② 実証実験区間及び集合場所

大崎市古川 下谷地土手下 地内



③ 位置図



『バイオディーゼル燃料(BDF)とは』

一般的に菜種油、ひまわり油、大豆油、コーン油などの植物由来の油を原材料としメタノールと触媒の水酸化カリウムで化学反応させたディーゼルエンジンで使用可能な液体燃料のことです。

「$CO_2$100%削減可能」で軽油の代わりになる
カーボンニュートラルな燃料です。
原料として使用済み食用油を用いることで
さらに油のリサイクルにもなります。



chida。

『バイオディーゼル燃料使用の4つのメリット」

現在弊社で製造・使用しているBDF100%を使用した場合

①CO_2排出量実質ゼロである
＊軽油1ℓ→2.6kgのCO_2が排出されます

②リサイクル率90%
使用済み植物性食用油でBDFを製造(原材料10ℓで9ℓが製造可能)

③黒煙を1/3以下に減少
様々な病気の原因とされている黒煙を減少

④硫黄酸化物(SOx)がほぼゼロ
ぜんそくやアトピーの原因のとされているSOxがほとんど排出されません

＊ほとんどのディーゼルエンジンに無改造で使用可能(B5＊5%の場合)
燃費と走行は軽油と同等

chida。